

した。

はじめに佐藤組合長が

る。 勢について語り、そのような中してきている」と現在の農業情 の調達拡大など厳しい状況に変化 食品産業における安価な農畜産物 後継者不足などによる農家戸数 ミウム分析器の導入や、作業負担 めぐる情勢は、生産者の高齢化 た白神米」を提供するため、 ベーターの建設、また、白神シ軽減を目的としたカントリーエ 消費者へ安全・安心な「あき また、消費者の低価格志向や 生産基盤の縮小が進んでい カド

> ことを振り返りました。 や組織基盤強化に取り組んできた 経営の推進など、 リーズの青果物振興を図 様々な事業活動 ŋ

賀会並びに平成30年度農畜産物生JAあきた白神合併20周年記念祝

JAあきた白神では2月19日、

産者大会を開きました。

組んでいく」と決意を新たにしま 体となった協同活動に今後も取り ることで、農業者と地域住民が の生活を支える総合事業を展開す を着実に実行し、営農と地域住民 連携による地域の活性化への貢献 業生産の拡大へのさらなる挑戦、 さらに「農業者の所得増大、

ら20年、節目の式典には、県や市、が広域合併して設立。広域合併かが広域合併して設立。広域合併か代市、二ツ井町(現能代市二ツ井当」Aは平成10年11月1日に能当」Aは平成10年11月1日に能

町をはじめJA元役員や来賓、J

A役職員など280人が出席しま

培環境の中、 や実績について総括し「厳しい 稲作や青果物、 議会の畑山悦雄会長が、 続いて、青果物生産振興連 生産者の素早い対応て総括し「厳しい栽、畜産物の生育状況 生産者の素早い 今年度の 絡協





